

あじさい新品種「パラソルロマン」の育成

1. 成果の要約

八重咲きの手まり型で、淡いピンク色の装飾花が多数着生するあじさい新品種「パラソルロマン」を開発した。

2. キーワード

あじさい、八重咲き、手まり型

3. 試験のねらい

あじさいは、県内の鉢物生産においてシクラメンに次ぐ主力品目であり、母の日の主力商材となっている。また、近年、鉢物の価格が低迷しているなかで、特徴のある品種は高単価で取り引きされている。そこで、消費者ニーズに合ったあじさい品種の開発を行う。

4. 育成経過

平成 11 年に八重咲き、複色の品種育成を目標に、場保有の「系統」（八重咲き・ガクアジサイ型・単色）を母親とし、「フラウヨシコ」（一重咲き・アジサイ型・複色）を父親として交配し、6 個体を得た。平成 13 年にそのうちの一重咲き・ガクアジサイ型・単色の 1 個体について、自殖交配を行い、得られた個体の中から、平成 29 年に八重咲きでアジサイ型の花序を有する系統を選抜し、「あじさい栃木 4 号」の系統番号を付した。特性調査の結果、花の特性に新奇性があることから、平成 30 年 7 月に「パラソルロマン」の名称で品種登録を出願し、平成 30 年 11 月に出願公表（第 33282 号）となった。

5. 特性の概要

- (1) 花序は手まり型（アジサイ型）で、直径は「きらきら星」と同程度（表-1）である。装飾花の直径は「きらきら星」に比べて小さいが、装飾花数は 179.0 輪と多く、花序全体が大きい（表-2）。
- (2) 装飾花は八重咲きで、がく片数は 13.2 枚と「きらきら星」と同程度であり（表-2）、がく片の縁に切れ込みが入る（表-2）。また、色は中心部の主色が淡紫ピンク色で外側に向かって色が淡くなり（表-3）、既存の品種にはない新奇性が認められる。
- (3) 樹形は開張性で、樹高は「きらきら星」と同程度である（表-4）。

6. 栽培上の留意点

- (1) 分枝数の確保と花芽の充実を図るために、挿し木は 5 月中旬から 6 月上旬、摘心は 8 月中旬までに行うことが望ましい。
- (2) 母の日向けの作型は、1 月下旬に定植後、最低温度 15℃を目安に管理を行うことで、5 月上旬の開花が見込める。

（担当者 研究開発部 花き研究室 菊地直美*、寺内信秀、菊地あすか）

* 現経営技術課

表-1 「パラソルロマン」の花序の特性

品種名	花序の形態	花序の直径 (cm)
パラソルロマン	手まり型 (アジサイ型)	20.0×20.4
きらきら星 (対照)	平型 (ガクアジサイ型)	18.0×20.0

表-2 「パラソルロマン」の装飾花の特性

品種名	装飾花数 (輪)	装飾花 の花形	装飾花の直径 (mm)		装飾花のがく 片数 (枚)	がく片の縁 の切れ込み
			程度	程度		
パラソルロマン	179.0	八重咲き	43×48	中	13.2	有 (深い)
きらきら星 (対照)	8.0	八重咲き	57×64	大	13.5	有 (深い)

表-3 「パラソルロマン」の装飾花の花色特性

品種名	装飾花の単色・複色の別 (複色のタイプ)	装飾花の色	
		主色	複色
パラソルロマン	複色 (グラデーション)	65B(9501 : 淡紫ピンク)	69D(8301 : 紫白)
きらきら星 (対照)	複色 (覆輪)	66C(8912 : 赤味紫)	69D(8301 : 紫白)

注. 装飾花の色はRHSカラーチャート、()内は日本園芸植物標準色票にて表示

表-4 新品種「パラソルロマン」の草姿特性

品種名	樹形	樹高 (cm)	枝の斑点	葉長 (mm)	葉幅 (mm)
パラソルロマン	開張性	40.0	中	107.5	88.1
きらきら星 (対照)	開張性	39.5	中	120.5	70.7



写真 「パラソルロマン」の開花状況